

東芝テック株式会社 静岡事業所(三島) サイトレポート情報

所在地 : 静岡県三島市南町6-78

敷地面積 : 49,646m²、建家面積 : 58,907m²、緑化率16.6%*規制対象外

設立 : 1963年1月、従業員 : 734名 (2022年4月現在)

主要製品 : 通信機器(MFP/複合機)、トナー、インクジェットヘッド

ISO14001認証取得 : 1997年3月、最新更新年月 : 2022年02月
4MS統合更新審査 (ISO認証番号 : JQA-E-80030)



ごあいさつ

当サイトは、「水と緑と人が輝く夢あるまち・三島」に立地しており、この環境を健全な状態で次世代に引継ぎ、「かけがえのない地球環境」を守ることが基本的責務であるとの認識にたつて、東芝テックグループの経営理念及び行動基準に基づき行動しています。また、当事業所は、MFP及び関連装置、記録材料、インクジェットヘッド及び関連装置、プリンター、イメージスキャナ等の設計・開発及び製造などの事業活動を行っており、これらによる環境に対する影響を低減するため環境保全活動を推進しています。



環境保全責任者 糴田信一

2021年度の環境の主な取組み

☆ISO14001環境マネジメントシステム

1997年3月に認証取得。2022年2月、プレミアム定期審査を受審し、認証継続完了

☆環境保全体制の充実

法令、条例の遵守。現場管理の強化

☆CO2排出量の削減

CO2 (エネルギー) 排出量 : 2019年度比 98.2%未達 (目標 93.1%以下)

☆廃棄物ゼロエミッションの継続

廃棄物総発生量 : 2013年度比 80.1%未達 (目標 76.3%以下)、最終処分率 : 0.07%達成

☆化学物質排出量の削減

化学物質の排出量 : 2013年度比 57.4%未達 (目標 64.0%以下)、化学物質の取扱量 : 2013年度比 88.1% (目標73.0%)

☆全員参加・啓発活動の展開

環境月間・3R推進月間・省エネ月間時の環境啓発活動、等

☆地域との協調

各種環境行事参加 :

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介



【 MFP/複合機 】



【 トナー 】



【 インクヘッド 】

東芝テック(株) 静岡事業所(三島)
 ㈱テックプレジジョン、東芝テック画像情報システム㈱

【序文】

「水と緑と人が輝く夢あるまち・三島」に立地している静岡事業所(三島)を中心として、各組織が一丸となって「かけがえのない地球環境」を守り、次世代に引き継ぐことを責務として、「人を大切にします」「豊かな価値を創造します」「社会に貢献します」という東芝グループ経営理念に基づき、エレクトロニクスを応用した社会に貢献するビジネス機器分野を中心に事業展開して行きます。

私たちは、IMS及び各MSの基本方針を守り、お客様・地域の皆様・従業員の満足と企業価値の向上に努めます。

そのために、品質・環境・労働安全衛生・情報セキュリティの統合マネジメント

システムを構築・維持することにより、相乗効果を創出し、バランスの取れた

【IMS基本方針】

1. 統合された目標を達成するための統合マネジメントシステムを維持し更に向上する。
2. 目標設定にあたっては、個々の最適化から全体最適化を図り、バランスの取れた目標を設定して、継続的な改善に取り組む。
3. 目標達成に向けて、リソースを効率的に運用すると共に、社会の動向や事業環境の変化に対し柔軟に対応する。
4. 事業を展開する国内外の法規制、お客様との契約、社内外の規程・

2022年4月1日

東芝テック株式会社 静岡事業所
 事業所長

土屋 竜宏 

東芝テック株式会社 静岡事業所(三島) 環境基本方針

わたしたちは、環境への取組みを、企業経営の最重要課題の一つとして位置づけ、「東芝テックグループ経営理念」のもと、人と、地球の、明日のために豊かな価値の創造と地球との共生を図り、顧客現場の課題を解決するソリューションパートナーとして、脱炭素社会、循環型社会、自然共生社会をめざした環境経営により、持続可能な社会の実現と、気候変動や持続可能な消費と生産への対応などのSDGsの達成に貢献し、新しい未来を始動させます。

1. 事業と調和させた環境経営の推進
 - 1) 事業活動、製品、サービスに関わる環境的側面について、生物多様性を含む環境影響を評価し、環境負荷の低減、環境汚染の予防の保全等に関する環境目標を設定・推進します。
 - 2) 監査の実施や活動のレビューにより環境経営の継続的な改善を図り、定期的な見直しを行います。
 - 3) 環境に関する法令・条例及び組織として受入れを決めた要求事項、自主基準などを順守します。
 - 4) 従業員の環境意識をより高め、全員で取り組みます。
 - 5) 環境方針、環境活動について広く社内外へ積極的に公開します。
 - 6) 行政、地域、関係団体などと協調し、社会全体のグローバル企業として、東芝テックグループ一体となった環境活動を推進します。
2. 事業活動での環境負荷低減と環境調和型製品の提供
 - 1) 地球資源の有限性を認識し、事業活動、製品・サービスの両面から有効な利用、活用を促進する積極的な環境施策を展開します。
 - 2) ライフサイクルを通して環境負荷の低減に寄与する環境調和型製品を提供します。
 - 3) 設計、調達、製造、物流、廃棄などすべての活動段階において、気候変動への対応、資源の有効活用、化学物質の管理などの環境負荷低減に向けた施策に取り組みます。
 - 4) 持続可能な社会の実現のため、社会に与える価値や意義を考え、将来を見据えた環境技術の開発に努めます。
3. ステークホルダーとの連携
 - 1) 地域・社会をはじめとするさまざまなステークホルダーと積極的なコミュニケーションを図り、連携した活動を推進します。

2022年 04月 01日

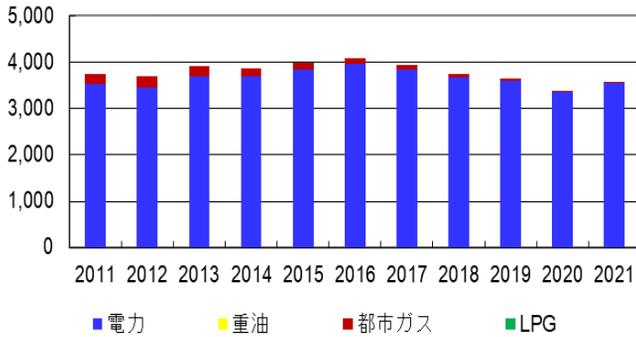
東芝テック株式会社 静岡事業所(三島)

事業所長 土屋 竜宏

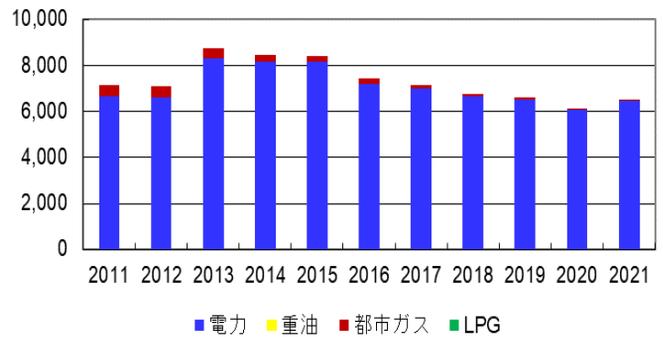


環境負荷データ

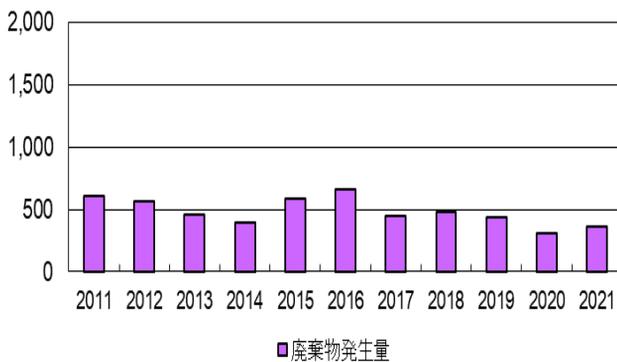
エネルギー使用量 (単位: KL)



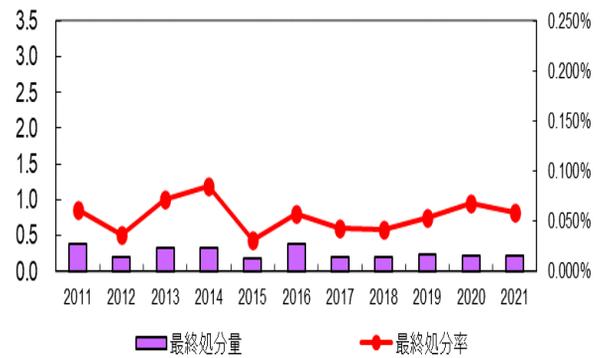
CO₂排出量 (単位: トン-CO₂)



廃棄物総発生量 (単位: トン)

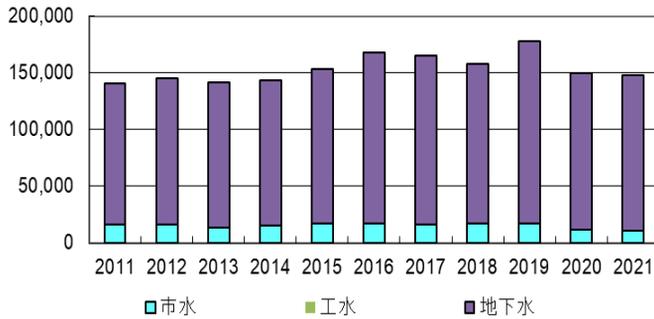


廃棄物最終処分量と最終処分率 (単位: トン, %)



主な廃物名: 紙類 (評価紙・ダンボール等)、プラスチック、金属、ガラス、木屑、廃油、汚泥等

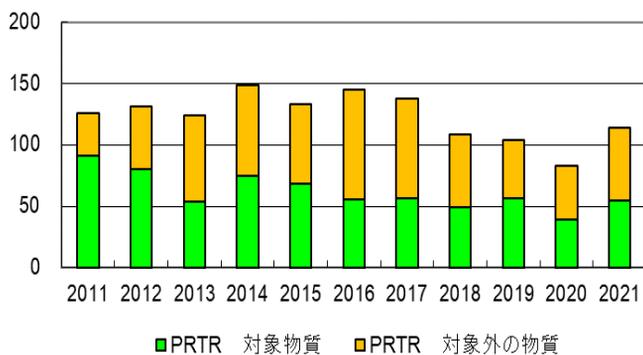
水の使用量 (単位: 千m³)



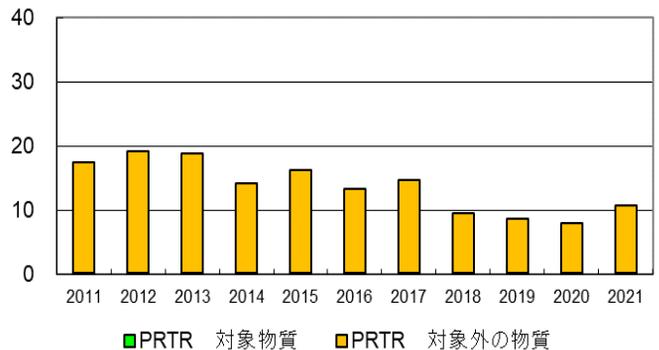
排水量 (単位: 千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量推移 (トン)



化学物質削減対象物質の排出量推移 (トン)



主な化学物質: IPA、マンガン、エタノール、トルエン、スチレン

遵法管理状況

<大気測定結果> 対象施設なし

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	—	—	—	—
SOx(Nm ³ /h)	—	—	—	—
ばいじん(mg/Nm ³)	—	—	—	—

<排水測定結果> (排水処理場施設(最終放流口から公共下水道へ放流))

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.7~8.7(下水道法)	6.0~8.5	7.8	年2回
BOD(mg/ℓ)	300(下水道法)	300	7.1	年2回
COD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
SS(mg/ℓ)	300(下水道法)	300	3.0	年2回
窒素(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
フッ素(mg/ℓ)	8(水濁法)	3	0.2	年2回

<騒音・振動測定結果> (特定施設(騒音 40施設(送風機、コンプレッサ、空気調和機)、振動 11施設(コンプレッサ)))

	測定場所：時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界：昼	55dB	55dB	51.6dB	2回
	敷地境界：夜	45dB	45dB	47.7dB	2回
振動(dB)	敷地境界：昼	55dB	55dB	45.0dB	1回
	敷地境界：夜	50dB	50dB	38.4dB	1回

<その他測定結果> (下水道法：主な測定結果) 対象なし

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	—	—	—	—
BOD(mg/ℓ)	—	—	—	—
SS(mg/ℓ)	—	—	—	—

<環境事故・指導指摘・苦情の有無>

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし

環境コミュニケーションの紹介

<楽寿園環境整備・清掃奉仕活動>

毎年 環境月間の6月に合わせて三島市からの呼びかけにより、市内主要道路のゴミ拾いを06年から参加して来ました。三島市が進める「花と言う癒しの彩りを添える事で三島の魅力を高め済みたい、訪れたい」と感じてもらえるまちづくり、『ガーデンシティみしま』事業の一環として市営公園 楽寿園(らくじゅえん)の環境整備として参加しました。

※コロナ禍により参加者数は三島地区環境保全推進協議会から各社1/2以下にするよう依頼があり、限られた人員で参加しました。今後も事業推進のため継続して参加していく予定です。

(実施概要)

(春の清掃奉仕活動)

- ・日 時:2021年5月15日(土)
- ・参加人数:5名
- ・内 容:市営公園での花苗植付けと園内ゴミ拾い草取り



生物多様性の保全への取り組み

<ミシマ柴胡の育成>、<三島サイト池 メダカのビオトープ化>

第7次アクションプランの生物多様性の取組については、事業所を起点とした地域連携による生態系ネットワークの構築を進めていきます。東芝テックでは本社の主導のもとで、各サイト共に生物多様性の保全への取り組みを進めています。

2021年度も継続してミシマ柴胡(絶滅危惧Ⅱ類(VU)の植物、離弁花類、セリ科)の保護に努めています。

また、三島サイト内の池を絶滅危惧種である黒メダカも保護しており、順調に増えています。

<黒メダカ>



<ミシマ柴胡>



環境目標

2022年度のサイトの主な環境目標

推進項目	指標	2022年度目標
地球温暖化の防止	CO2総排出量 2019年度基準	91.3%以下 ※総排出量見込：6,033.0t-CO2
	水受入量（使用量） 2013年度基準	104.2%以下 ※使用量見込：147,632m ³
資源の有効活用	最終処分率	0.10%以下
	廃棄物総発生量 2013年度基準	95.9%以下 ※総発生量見込：439.5t以下
化学物質管理	化学物質取扱量 2013年度基準	93.0%以下 ※取扱量見込：112.4t
	大気・水域への排出量 2013年度基準	61.0%以下 ※排出量見込：10.6t